

Story Of Top Pro [建築]

建築家 大塚謙太郎氏の仕事



01



02



03



04

01 みらくるちゅぷ
吊遊具で遊べる木造の児童デイサービス
02 ニコココ保育園
汲みあげた地下水で育てる田んぼのある保育園

03 エンゼルキッズ清和台
天井の低いかくれがコーナーはこどもたちのお気に入り
04 なのはな保育園
広い廊下をもうひとつの保育室と考える

こどもたちのために何が出来るか。

ひとりの大人として、設計という仕事をおして考えています。

保育所などの、小さなこどもたちが生活する空間を専門とする建築設計事務所を主宰しています。

保育所設計の面白くもあり難しいところは、ユーザーから直接ご要望をお聞きできる住宅などの建築とは違い、エンドユーザーであるこどもたちの考えを聞くことが難しいという点です。だから、保育士、保護者、工事業者の方々と一緒になって、こどもの頃の記憶をたぐり寄せ、こどもたちの豊かな生活空間とはどうあるべきかを議論し、力を合わせて一つの建築を作り上げていくのです。保育所建築とは、こどもたちを思う大人の気持ちの結晶であり、こどもたちへの回答です。

設計という仕事を通じて、こどもたちの成長をサポートできればいいですね。ひとりの大人として、こどもたちに何が出来るのか、私たちが考えていくべき最も大切なことのひとつだと思います。

大学では、学校の先生をめざしていたのですが、3回

生の終わりに起こった阪神淡路大震災がきっかけで建築に舵を切り、中央実務専門学校（現学校名：中央工学校OSAKA）に入学しました。大学と違って実務を経験された先生が多くいらっしゃいますし、先生と学生との距離が近く、先生方との会話の中で多くのことを教えていただきました。入社した設計事務所ですべて初めて設計を担当したのが保育所であり、こどもたちへの建築を追求しています。

失敗を繰り返しながら、少しずつ正解へと近づく日々ですが、失敗は発見でもあり、自分の成長そのものです。

悩み迷いながらも前へ踏み出せば、やがて目的ははっきりと見えてくると思います。衣食住の一つである建築は、人間の営みに欠くことのできないもの。建築を通じて、人々のために作り上げようとするものは何なのかを、見定めて欲しいですね。



大塚 謙太郎 氏

ちびっこ計画
大塚謙太郎一級建築士事務所 代表

中央実務専門学校 建築設計科 1998年卒業
(現学校名：中央工学校OSAKA)

佛教学部文学部史学科卒業。ちびっこ計画・大塚謙太郎一級建築士事務所設立。こども環境アドバイザー、一級建築士。こどもの建築をライフワークとして、それに特化した設計活動を展開。関西圏を中心に保育所など約30ヵ所を手がける。